



第36回 東濃地科学センターセミナー

探査機

「はやぶさ2」が持ち帰った

小惑星リュウグウの試料

イラスト：池下章裕

日時・会場 オンライン同時開催

13時30分開演（13時開場）

2023年 **3月21日** (祝日) (火)

主岐市産業文化振興センター
セラトピア土岐 大会議室 (3階)



【講師】

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
宇宙科学研究所 地球外物質研究グループ

やだ とおる

矢田 達 博士

参加申込方法

参加無料

①会場参加 (定員70名 先着順)
3/6(月)9時より電話・ホームページで申込
(QRコードまで↓)

②オンライン参加
ホームページで申込
(QRコードまで→)



お申込み・お問合せ先

<https://www.jaea.go.jp/04/tono/index.html>



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門

東濃地科学センター 総務・共生課 TEL 0572-53-0211 (代表) 裏面もご覧ください

＜新型コロナウイルスの基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします＞

探査機「はやぶさ2」が持ち帰った 小惑星リュウグウの試料

【講師】

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
宇宙科学研究所 地球外物質研究グループ



やだ とおる
矢田 達 博士

〈講演内容〉

地球の海の源の水、生命の源の有機物がどのようにしてもたらされたのか、また地球を形作る岩石は水や有機物をどのように取り込み、相互的にどのような進化の歴史をたどってきたのかを解く鍵を探しに、探査機「はやぶさ2」は地球から1億 km 以上も離れた小惑星リュウグウに到達して探査を行い、そのサンプルを地球に持ち帰りました。本講演では、「はやぶさ2」が小惑星リュウグウで何を達成し、地球に帰還した試料からどのようなことが明らかになったかについて御紹介させていただきます。

〈開催プログラム〉

- 13:30 開演 (開場 13:00)
- 13:35 ~ 東濃地科学センターの概況説明
- 14:00 ~ 講演「探査機「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウの試料」
- 15:30 終演

【会場案内】 ※土岐市駅より徒歩約10分



〈略歴〉

- 1971年 福岡県生まれ
- 1990年 九州大学理学部地球惑星科学科入学
- 2001年 九州大学大学院理学府惑星科学専攻理学博士号取得

PD 学振特別研究員として東京大学、米国ワシントン大学にて滞在・研究した後、台湾中央研究院ポスドクター研究員として米国アルゴンヌ国立研究所にて滞在・研究、2006年より現職。

専門分野は宇宙科学、現職にて地球外物質キュレーション研究開発に従事。

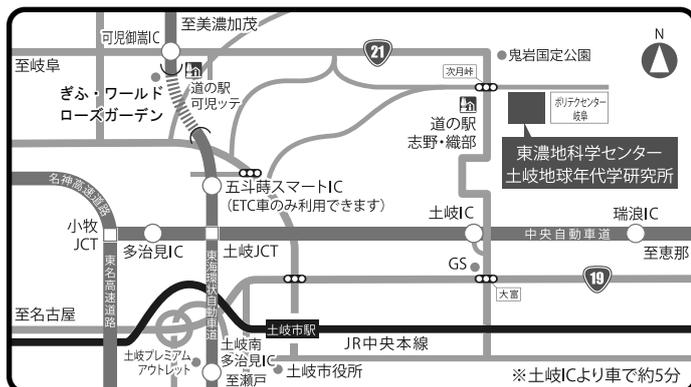
土岐地球年代学研究所を見学してみませんか？

見学無料

東濃地科学センターでは、『地層科学研究』を進めています。

東濃地科学センター土岐地球年代学研究所では、高レベル放射性廃棄物の地層処分の長期的な安全性評価と関係が深い地震や火山などの自然現象に関する研究開発をご紹介する見学を行っています。見学時には、研究担当者から研究開発の様子や年代測定に利用する分析装置について直接ご紹介します。

見学をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記の連絡先まで住所、氏名、電話番号をお知らせください。



【研究所へのアクセス】

※開催日時、見学内容等の詳細については、下記のお問合せ先かホームページにて、ご確認ください。



【お問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
東濃地科学センター 総務・共生課
Tel 0572-53-0211 (代表)

